

ヒト生体環境に着目した 新規皮膚細胞培養系の構築と応用（第3報）

食品コスメ部 岩元彬、吉村臣史、柘植圭介

概要 化粧品の美容効果を評価するために、
皮膚に近い試験環境をヒト細胞を使って作り出す研究です。

<機能性化粧品開発の流れ>



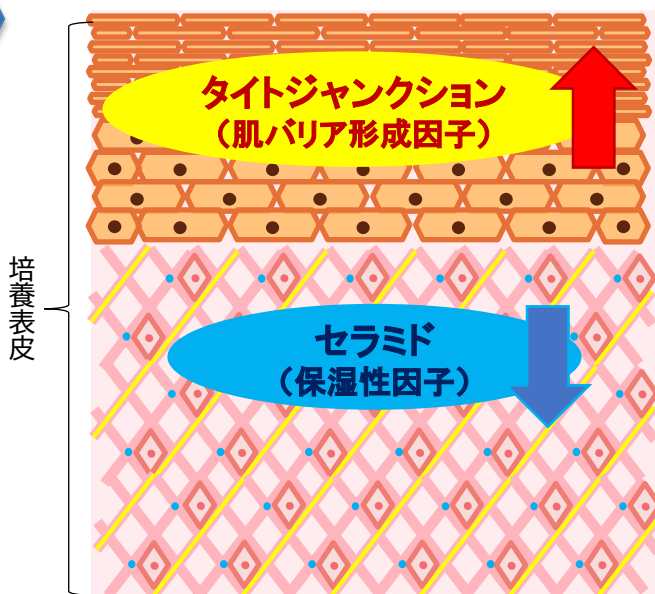
動物実験介さずにヒト試験へ

- ◇ 動物実験は禁止の方向
- ◇ 代替法の使用が必須

化粧品の機能を評価できる
皮膚試験系が必要不可欠

表皮と同じガス環境を再現
(酸素濃度 1~5%)

- マルチガスインキュベーターで
酸素濃度1~3%環境を作製



- マルチガスインキュベーターを使用して、ヒトの表皮と同じ
酸素濃度1~5%環境のヒト表皮細胞培養モデルを作り出した

- 酸素濃度1~3%では肌バリア機能を担うタイトジャンクション形成
因子の遺伝子発現が増強することを見出した

◇ 詳しい内容は、研究報告書でご覧いただけます。

【お問合せ先】佐賀県工業技術センター 食品コスメ部 0952-30-8162

